

はなみずき

VOL
37

平成30年 夏号



皆様こんにちは、乳腺外科の鴨 宣之です。このたび医療法人財団興和会の理事となりました。これまで以上に、右田病院の理念であります「地域のホームホスピタル」を実践する様、乳腺外科のみならず多方面に気を配り頑張りますので、宜しく願い申し上げます。

さて、右田病院で乳腺外科を始めて8年となりました。昨年マンモグラフィ、超音波検査(エコー)装置を最新機種に入れ替えました。マンモグラフィ、エコーは、視触診とともに乳腺外科医の目となり、最初に行う必須の検査で、とても重要です。マンモグラフィでは、日本で最小の50 μ mの高精細画像が得られ、従来比30%減の低線量撮影が可能となりました。更にコンピュータ乳がん検出支援システムCAD(キャド; Computer Aided Detection)を搭載しており、より安心出来る検査が実現されます。エコーでは、しこりの硬さが分かるエラストグラフィや、微細な石灰化を見出すマイクロピュアが搭載されています。乳がんのしこりは、硬かったり、石灰化を伴ったりしますので非常に有用です。また、乳腺外科では、他の診療科と比べ、不安なお気持ちを持たれている患者さんの多い科です。「乳がんでしょうか?」「これからどうなるのでしょうか?」といったお言葉を度々耳にします。やはり、がんに係わる事が多いのと、すぐに白黒はっきりしない場合もありますので、そのお気持ちは十分お察し致します。しかし、病状からして、乳がんをそれ程意識なさらなくてもよい場合も多々あります。先述の最新機種を用いてしっかりと検査し、その上で、結果をより判り

易く丁寧に説明し、病状を十分ご理解して頂く事で、不安が少しでも少なくなれば幸いです。更に、この度改定されました「乳がん診療ガイドライン」を参考にし、患者医師間で、情報を共有し、共に考え、治療方針を決定する方法、shared decision making(シェアードディジョン メーキング; 協働的意思決定)を実践し、患者さんに寄り添い、共に歩んで参りたいと思います。是非、外来では不安や心配事を多くお聞かせ下さい。それにお答えする事で、不安が少なくなり、穏やかな気持ちで診療をお受け頂ければと思います。また、これまで通り、ハブ病院として、地域や都内の大病院と積極的に連携し、ご希望の治療が可能となる様にマネジメント致します。治療では、補助として漢方を積極的に取り入れ、西洋医学では解決しづらいお悩みを軽減して行きたいです。

右田病院乳腺センターが、あなたの乳房の、「かかりつけ医」となれば有難いです。

当センターの合い言葉である“安全”“安心”“愛情”のトリプルAで、これまで通り、寄り添い、お支えして参ります。

今後とも宜しく願い申し上げます。



医療法人財団 興和会 理事
右田病院 診療部統括部長・乳腺外科部長
鴨 宣之

医薬品副作用被害救済制度とは

■ **医薬品副作用被害救済制度とは**.....
薬は人の健康や命を守るために欠かせないものですが、薬を正しく使っても副作用が起きてしまうことがあります。治療に使用した薬の**重篤な副作用により、健康被害が起きてしまった際に救済給付を行なう制度**です。

■ **具体的には**.....
病院や診療所において投薬、または処方された医薬品(1980年(昭和55年)5月1日以降に日本で使用された医薬品)、ならびに処方箋なしで購入できる一般用医薬品(OTC)を、適正に使用したにもかかわらず副作用が発生し、その結果入院が必要になった場合や後遺症が残った場合などに救済されます。ただし、副作用が入院を必要としない程度(眠気、嘔吐など)の場合、対象外医薬品(抗がん剤、免疫抑制剤などの一部)の場合、

医薬品の使用目的・方法が適正ではなかった場合、請求期限が経過した場合、救命のため副作用の発生が予想できるもののやむを得ず通常の量を超え使用した場合、医薬品の製造販売業者に損害賠償責任がある場合などは対象となりません。

■ **救済給付の方法は**.....
副作用の状況に応じて違いがありますが医療費、年金、一時金などで給付されます。

この制度について詳しいことは下記までご相談ください。

独立行政法人医薬品医療機器総合機構(PMDA)
救済制度相談窓口 0120-149-931

薬剤師 杉山 菜穂子



検査のお話

診察・健診などでよく行われる『尿検査』について

●尿とは.....

尿は腎臓で作られます。腎臓は血液から不要なものを濾しとる臓器です。血液に必要なものと不要なものに濾過してわけ、再利用できる必要な栄養を再び吸収します。そして不要なものと水分が尿管を通過して膀胱に集められ、ある程度溜まると尿として排出されています。**尿量は一日およそ1000mlから2000ml**です。年齢、季節、食事によって影響をうけ変化します。これより異常に少ない(具体的に500ml/日以下)または多い(2500ml/日以上)場合は何らかの異常があると考えます。尿検査ではその尿の中に本来含まれてはいけないものがあるかどうかをチェックしています。

●尿定性検査.....

尿に色の付いた試験紙を浸けることで、反応後の色の変化をみて陽性か陰性かを判断して結果を報告します。

尿検査は多くの項目を患者様の負担を少なく行えます。その分、直前の食事、食事に含まれるもの、甘いジュースなどの飲水、当日の体調などの影響を受けて、結果が変化することがあります。健康であるのにも関わらず結果が陽性に出してしまうこともゼロではありません。万が一異常の結果が出ても、慌てず再検査を受けて頂き、医師に総合的な判断をしてもらいましょう。また健診など受ける際は検査前の飲食制限、注意事項などをよく確認して頂き、体調も気かけながら検査を受けて頂くことお勧めします。

臨床検査技師 佐藤 綾乃

尿定性検査の主な検査項目

①尿蛋白.....

蛋白は基本的に不要なものではなく、腎臓で再吸収され血液中に戻ります。これが尿中に現れるということは濾過する腎臓に何かしらの異常がある可能性があります。

②尿糖.....

濾し取る腎臓に問題がなくても、血液中の糖の量が腎臓の濾過できる範囲を超えた場合、尿中に出現します。メタボリックシンドローム、糖尿病などで血液中の糖が増加し尿に出現します。

③尿潜血.....

通常血液は尿中に出現しません。しかし腎臓から尿管、膀胱などから出血があると尿中に混じるようになります。また女性の場合生理中、またはその直後は血液混入の恐れがあるので、健診を受けられる場合はその間は避けて頂くことが望ましいです。尿定性検査では他に尿ウロビリノゲン、尿ビリルビン、尿ケトン体、尿pH、尿比重などを検査しています。

これらの検査のほかに「尿沈査」といって尿中の細胞を集め、本来現れていないものが含まれていないか顕微鏡を使い目視で確認を行う検査方法もあります。



栄養士のひとりごと

からだの水分

だんだん暑くなってきましたが、みなさんいかがお過ごしですか？

今回は「からだの水分」について書いてみようと思います。みなさんは、体に必要な水分量はどのくらいだと思いますか？

体重に対して、**乳児は約70%、成人は約60%、高齢者は約50~55%**と言われていています。

からだは必要な水分を体液(血液・リンパ液・唾液・消化液・尿など)として蓄えています。加齢に伴い体重が減ると蓄えられる水分量も減ってしまいますが、特に**血液、尿、汗の量が減ることは健康状態にも影響を与えます。高齢者は特に注意が必要です。**水分量を保つためには**1日に入ると出る水分量のバランスを保つ**ことが大切です。

図のように水分は1日におよそ2.5L失われます。それを補うためには飲み物や食べ物から同じだけの水分を取らなければなりません。体格や食事内容にもよりますが、**最低でも1日1.2Lの水分を摂取**することが推奨されています。

みなさんは1日にどのくらい水分をとっていますか？トイレが近くなるから水分はあまりとりたくないんです...という言葉をよく耳にしますが、**しっかり水分を補給して脱水を予防しましょう！！**

管理栄養士 橋本 理絵



水分摂取		水分排出	
食事	1.0ℓ	尿・便	1.6ℓ
体内で作られる水	0.3ℓ	+	
のみ水	1.2ℓ	呼吸や汗	0.9ℓ
合計	2.5ℓ	合計	2.5ℓ

水分補給のポイント

Point ① **意識的に水分を摂取する！！**

「のどが渴いた」と感じる前に意識的に水分を摂取するようにしましょう！

Point ② **こまめに摂取する！**

朝起きたら、外出前に、お風呂の前後に... 食事以外のタイミングにも水分を取りましょう！！

Point ③ **体調や気分に合わせて選ぶ！！**

水分の中には糖質や塩分の多いものもあります。体に良いと思って飲んでいるもの(スポーツドリンク等)が実は体に悪影響...なんてこともあるので気を付けてくださいね！！

職場紹介

～検査科の巻～

当院では、明るく元気な女性の臨床検査技師が、検体検査や生理検査の検査業務と、NST(栄養サポート)・ICT(感染制御)などの臨床支援業務を幅広く行い、活躍しております。

臨床検査には、採取した血液・尿・便などを検査する「**検体検査**」と、患者様自身を対象として、心電図・肺機能などを検査する「**生理機能検査**」があります。

どちらの検査も、安心して安全な検査を行うことはもちろん、正確な検査結果を迅速に報告することで医師の診断をサポートし、**患者様に質の高い医療を提供**できるよう、検査科一同、日々努力しております。



病院で困ったときや何かわからないことがありましたら、検査科スタッフへどうぞ気軽にお声かけください。よろしくお祈りいたします。



診療支援部検査科
科長 安藤 美穂子



HOT TOPICS

右田病院

正面玄関前に花壇を設けました♪



右田病院正面玄関前エントランスに花壇を設けました。いままではつつじを植えてありましたが、春先しか花が咲かず、また発育もあまりよくなく苦慮しておりました。そこで植木屋さんに依頼し、草花を植栽し花壇にしました。草花のことは全くわからない素人の私ですが、入口にきれいなお花が咲いているとなんだか心がうれしくなります。植木屋さんはニコニコしながら“一日、エントランス付近にいますと、たくさんの方から花について話しかけられます。多くの方が興味をもって見ておられますね。ペロニカの青い花が咲いて喜んでいらっしゃる方が多かったです。みなさん、花壇を作ると言う楽しみになっています。月曜に退院だけど、その後に見にきたいという方もいらっしゃいました。”と話してくれました。人の心を動かすお花の力って偉大ですね。

花壇には一年草、多年草、常緑低木などを組み合わせてその季節に合わせた花を咲かせていこうと考えています。

皆様もご来院の際にはこの花壇をご覧ください。

施設管理室 飯塚 光明

ペロニカ



医療法人財団興和会 右田病院

住所: 〒192-0043 東京都八王子市暁町1-48-18
TEL: 042-622-5155 (代表)

理事長 右田 敦之 院長 右田 隆之

従業員数 140名 開設 昭和8年11月

標榜科目

- 消化器外科・整形外科・呼吸器外科・乳腺外科
- 形成外科・肛門外科・一般外科・消化器内科
- 循環器内科・呼吸器内科・一般内科・泌尿器科
- 皮膚科・麻酔科・リハビリテーション科・救急科

病床数

●一般病棟 41床 ●地域包括ケア病棟 41床 計 82床

東京都指定二次救急医療機関/在宅療養支援病院
日本外科学会認定専門医制度関連施設
日本整形外科学会専門医師研修施設
マンモグラフィ精度管理中央委員会認定施設
日本静脈経腸栄養学会NST稼働認定施設
日本栄養療法推進協議会NST稼働認定施設

アクセス

- 京王八王子駅下車徒歩17分
- JR八王子駅下車徒歩22分
- JR八王子駅・京王八王子駅より
「宇津木台行」・「ひよどり山トンネル経由創価大学行」
「ひよどり山トンネル経由富士美術館行」・「ひよどり山トンネル経由戸吹行」
上記各バス「八王子郵便局」バス停下車徒歩4分

医療法人財団興和会 右田健診クリニック

住所: 〒192-0066 東京都八王子市本町16-17 廣瀬ビル1F
予約専用電話: 0120-222-621

院長 右田 徹 開設 平成20年4月

検診内容: 乳がん検診・子宮がん検診・八王子市特定検診
女性専用の健診施設 完全予約制

マンモグラフィ精度管理中央委員会認定施設

